

Memo

NEC 照明器具

LEDシーリングライト 照明部 取扱説明書

保証書添付 保存用

Made for
iPod iPhone

Bluetooth®

対応している iPod / iPhone を確認する

- iPod touch (第3および第4世代), iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS

※本製品は、アプリケーション情報サイト（P12参照）に記載されているiPod/iPhoneのソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。
 ※アプリケーション情報サイトに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様のiPod/iPhoneにインストールした場合、本製品との互換が無くなる場合があります。
 ※上記以外のiPod/iPhoneの再生や操作は、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

iPod / iPhone のソフトウェアのバージョンを確認する

1. トップメニューから「設定」を選びます。
iPod/iPhoneでは、「設定」→「一般」を選びます。
2. 「情報」を選びます。

ソフトウェアのバージョンが表示されます。
 ※iPod/iPhoneのモデルやソフトウェアのバージョンによっては一部機能が制限されます。
 ※iPod/iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
 ※本機とiPod/iPhoneを組み合せてご使用の際、万一iPod/iPhoneのデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
 ※iPod/iPhoneの機能および操作については、iPod/iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

器具取付時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠ 警告 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

⚠ 注意 誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

⚠ 警告

器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。
 取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。
 風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。
 漏電し、火災・感電の原因となります。

この記号は、注意（警告）をうながす内容があることを知らせるものです。

この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。

この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落し、感電・けがの原因となります。

電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

⚠ 注意

器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。
 天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。
 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

この器具は防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

この器具は屋内用です。使用環境温度範囲は5°C~35°C、使用環境湿度は85%以下（通風孔が妨げられないこと）です。
 風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

※施工時や故障のときなど、メモ用紙としてご利用ください。

NECライティング株式会社東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 <http://www.nelt.co.jp/>

＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

故障?と思われたら

- ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
- 下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。

照明部

症 状	主 な 原 因	処 置 方 法
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	11ページ 「4. 電源を接続する」を参照してください。
	照明器具の壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをONにしてください。
点灯しないときがある	リモコンでOFFにした後、壁スイッチ2秒以上たってから再度壁スイッチをONにしている。(消灯状態をメモリーしている)	壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンの各ボタン操作して点灯させてください。
勝手に点灯・消灯する	 上図のように留守タイマーマーク及びおやすみタイマーマークが表示されている。	9ページ 留守タイマーまたはおやすみタイマーそれぞれの「解除方法」を参照してください。
明るさが勝手に変わると点灯モードが勝手に変わる	デモモード機能状態となっている。	5ページ 「デモモードの解除方法」を参照してください。
留守タイマーおやすみタイマーが動作しない	リモコンがホルダーに入っていない。 リモコンが信号の届かない場所に置かれている。	7~9ページを参照してください。
ホタルック機能が動作しない	常夜灯ユニットの残光スイッチが「切」になっている。	11ページ 「6. ホタルック機能を設定する」を参照してください。

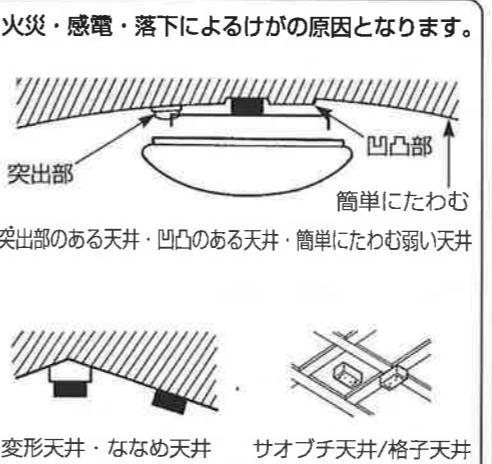
スピーカー部

症 状	主 な 原 因	処 置 方 法
リモコン操作ができない	照明部の「リモコン操作ができない」を参照してください。	
音が小さい	音量調節が最小になっている。	14ページ 「音量を調節する」を参照してください。
	リモコンの「音量」ボタンの操作に10秒以上経過している。	14ページ 「音量を調節する」を参照してください。
スピーカー部をオフにした後、オンができない	オフにした後、5秒以内にオンしている。	13ページ 「スピーカー部の電源を単独でオフ/オフする」を参照してください。
Bluetooth®機能搭載機器の音が出ないまたは正しく動作しない	Bluetooth®機能搭載機器とのペアリングをしていない。 Bluetooth®機能搭載機器の正しい操作や設定をしていない。	15ページ 「Bluetooth®機能搭載機器とのペアリングをする」を参照のうえ、Bluetooth®機能搭載機器とのペアリングを行ってください。 Bluetooth®機能搭載機器の取り扱い説明書を参照してください。
ペアリングできないまたは[NO01LT]が見つからない	ペアリングの待機時間(10分間)が過ぎている。	15ページ 「Bluetooth®機能搭載機器の準備をする」を参照してください。
環境音が切り替わらずに停止してしまう	リモコンの「環境音」ボタンの操作に2秒以上経過している。	14ページ 「環境音を楽しむ」を参照してください。

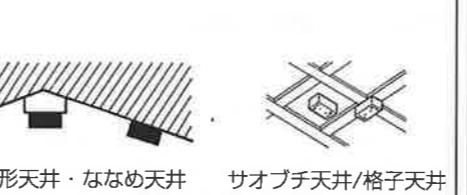
- なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
- 形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。



次に配線器具は、出しろを確認してください。



下図の場合は、電気工事店が販売店にご相談ください。



ガタつくもの

ケースウェイに取り付いている

角型、丸型引掛シーリング21mm以下は取り付けできません。

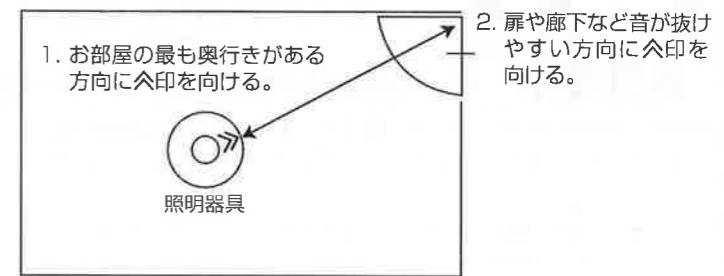
埋込ローゼット10mm以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。
器具が落下する恐れがあります。

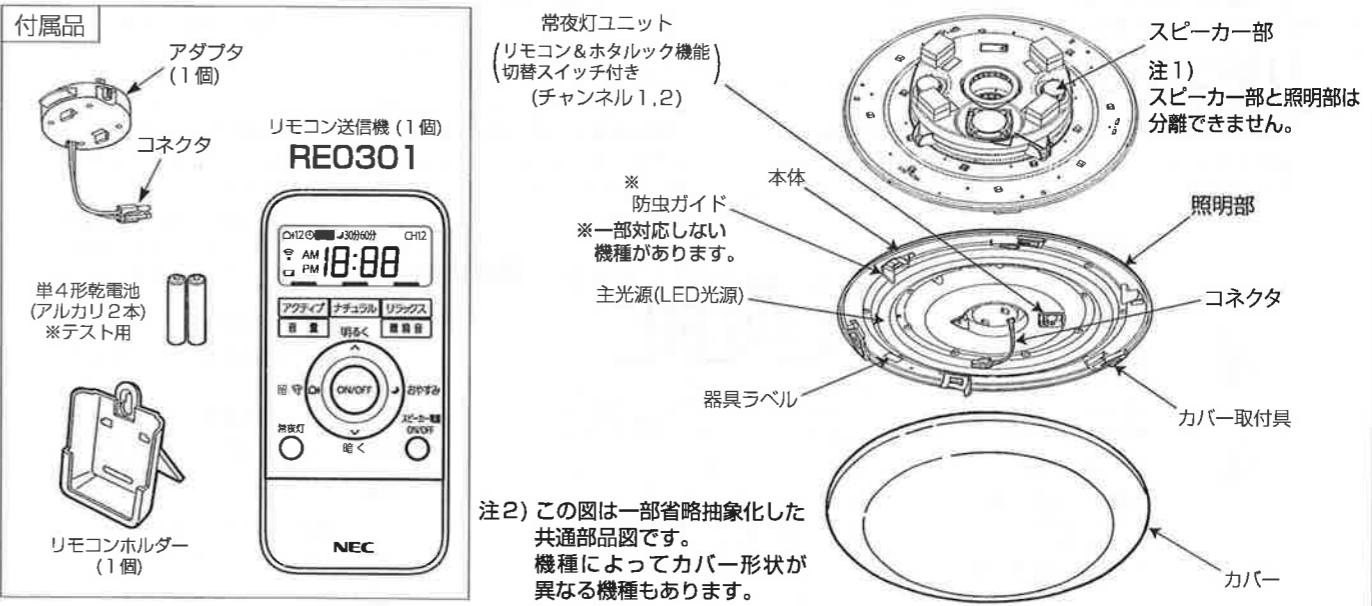
天井への取り付けに関して

本器具のスピーカー部は、洋室や和室などさまざまなタイプのお部屋に取り付けて聴いていただけるように音質設計されており、お部屋のどの場所で音楽を聴いても自然な聞こえ方になりますように配慮された音質になっています。
(音の指向性が少なくなるように音質設計されております。)
ただし、お部屋の広さや形状、聞く場所によっては音楽の聞こえ方に多少違いが出ることがありますので、照明器具に貼り付けてある印がお部屋の一番奥行きのある方向に向くように取り付けると、比較的バランスのとれた音質となりやすいので、照明器具を取り付けの際の参考にしてください。

【取り付け参考例】



各部の名称



リモコンの電池の入れかた

*2ページの「使用時の安全上のご注意」もご確認ください。

- リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
- 単4形乾電池2本を、右図のように $\oplus\ominus$ の向きを合わせてセットする。
- 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。



点灯状態切替の操作方法

点灯モードを切り替えたい時

点灯モード切り替えボタン(アクティブ／ナチュラル／リラックス)を押すと現在の点灯モードが表示され、各点灯モードの調光段数10段(全灯)で点灯します。

※常夜灯及び消灯時に記憶している点灯モードと同じ点灯モード切り替えボタンを押すと記憶している明るさで点灯します。

(常夜灯・消灯前に点灯させていた点灯モード及び明るさを自動的に記憶しています。)

注1) 各モードで点灯している時に同じ点灯モード切り替えボタンを押しても変化しません。

注2) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。

壁スイッチで点灯させてからリモコンでの操作を行なってください。



点灯モード切り替え例

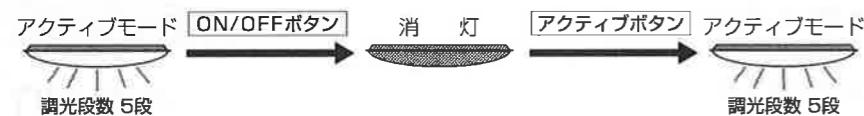
〈切り替え例①〉



〈切り替え例②〉



〈切り替え例③〉



〈切り替え例④〉



明るさを変えたい時

■明るく／暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。

1段(10%) ←→ 10段(全灯)
お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

■明るく／暗くボタンを短押しすると1段ずつ明るさが調光します。

1段(10%) ←→ 2段 ←→ 3段 ←→ … 9段 ←→ 10段(全灯)
ボタンを押すごとに1段ずつ変化します。

注) リモコンが常夜灯を操作する状態になっていると、明るさは7段以上にはなりません。



※常夜灯も調光することができます。

明るく／暗くボタンを長押しすると1段 ←→ 7段で連続で調光します。

短押しすると1段 ←→ 2段 ←→ … 6段 ←→ 7段で1段ずつ調光します。

注1) 1段(10%)及び10段(全灯)点灯時の「ピッ」と音がなります。

※常夜灯時は1段及び7段で点灯した時の「ピッ」と音がなります。

注2) 1段(10%)及び10段(全灯)点灯時に明るく／暗くボタンを押しても明るさは変化しません。

※常夜灯時は1段及び7段で点灯した時は、明るく／暗くボタンを押しても明るさは変化しません。

注3) 照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なっている場合、リモコンの明るく／暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。

注4) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。

壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

Bluetooth®機能搭載機器の準備をする

本機(スピーカー部)は携帯電話やスマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤー、Bluetooth®機能内蔵パソコンなどBluetooth®を搭載したオーディオ再生機器と接続して、音楽を楽しむことができます。

■ペアリング(Bluetooth®機能搭載機器の登録)

Bluetooth®機能搭載機器とはじめて接続するときは、ペアリングによる登録をしてください。一度ペアリングをすると、次回からは登録済みのBluetooth®機能搭載機器として認識されます。

・ペアリングとは、Bluetooth®機能搭載機器同士の接続設定を行うことです。ペアリングを行うことで、本機(スピーカー部)とBluetooth®機能搭載機器がつながって、アクセスできるようになります。

・本機(スピーカー部)は、Bluetooth®バージョン2.1に対応している機器と接続できます。Bluetooth®バージョン2.1未満のときは、PINコード“0000”的入力設定を行うことにより接続ができます。

・ペアリングの情報は最大8台まで登録できます。ペアリングの相手機器が8台を超えるときは、過去に接続された機器の情報が古い順に消去されます。

1. 過去に本機(スピーカー部)と接続したことがある、すべてのBluetooth®機能搭載機器の電源を切っておきます。

2. 本機(スピーカー部)の電源をオンにします。本機(スピーカー部)がペアリング待機状態になります。(待機時間は10分間)

※ペアリングが完了せずに10分が経過すると、本機(スピーカー部)のペアリング待ち状態が解除され、Bluetooth®接続待ち状態となります。もう一度ペアリング状態にする場合は、本機(スピーカー部)の電源を一度オフにしてから再度オンにしてください。

3. ペアリングしたいBluetooth®機能搭載機器の電源を入れ、ペアリング操作をします。ペアリングが完了すると、自動でBluetooth®接続状態となります。

※ペアリングの方法は、接続するBluetooth®機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

※ペアリングで表示される本機(スピーカー部)の名称は[N001LT]です。

Bluetooth®機能搭載機器の音楽を再生する

Bluetooth®機能搭載機器は、以下の方法で接続します。

1. 本機(スピーカー部)の電源をオンにします。

2. ペアリングが終了しているBluetooth®機能搭載機器の電源を入れ、機器側の設定で本機(スピーカー部)[N001LT]を選択して接続します。

3. 接続が完了すると、Bluetooth®機能搭載機器側で接続の状態が表示されて音楽を再生できます。

※接続の設定は、接続するBluetooth®機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

※接続するBluetooth®機能搭載機器は、プロファイル:A2DPに対応している必要があります。

※本機(スピーカー部)は、SCMS-T方式でコンテンツ保護されている音楽を聴くことができます。

※専用アプリケーションの設定で、自動接続設定がオフのときは、下記の方法で行ってください。

専用アプリケーションで自動接続設定がオフのとき

専用アプリケーションの設定で自動接続設定がオフになっているときは、Bluetooth®接続を自動で行います。

1. ペアリングが終了している専用アプリケーションを搭載した機器の電源が入っている状態で、本機(スピーカー部)の電源を入れます。

2. Bluetooth®接続を自動で行います。

※専用アプリケーションの自動接続設定方法に関しては、12ページに掲載しているQRコードのサイトをご覧ください。

※自動接続で正しくつながらないときは、本機(スピーカー部)の電源をオフにして再度オフにするか、専用アプリケーションを搭載している機器側からBluetooth®接続を行なってください。

次ページ▶▶

環境音を楽しむ

本機(スピーカー部)には、あらかじめ以下の6種類の環境音が用意されています。環境音は、雰囲気のある音場のシーンを演出します。

<環境音の種類>

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| NO.1 鳥のさえずり | NO.2 せせらぎと小鳥 | NO.3 サンゴ海ビーチ |
| NO.4 小川の流れ | NO.5 夜のビーチ | NO.6 虫の声 |

※製品出荷時の環境音は「NO.1 鳥のさえずり」です。

■ 環境音を再生する

1. スピーカー部の電源を、オンにしてください。
2. リモコンの [環境音] ボタンを押すと、環境音が再生されます。

※最後に再生された環境音が再生されます。

※Bluetooth®機能搭載機器の音楽が再生されているときは、環境音がミックスされて同時に再生されます。

■ 環境音を選ぶ

環境音の再生が始まって2秒以内にリモコンの [環境音] ボタンを押すと、環境音が以下のように切り替わります。

環境音 NO.1 → **環境音 NO.2** → **環境音 NO.3** → **環境音 NO.4** → **環境音 NO.5** → **環境音 NO.6**

※再生が始まつてから2秒以内に押してください。2秒以上経過してボタンを押すと、再生が停止します。

■ 環境音を停止する

環境音の再生中にリモコンの [環境音] ボタンを押すと、環境音が停止します。

※再生が始まつて、2秒以上経過してから押してください。2秒以内に押すと、環境音が切り替わります。

音量を調節する

環境音とBluetooth®機能搭載機器の音量を、1(最小)～5(最大)の5段階に切り替えます。

リモコンの [音量] ボタンを押すと、再生中の音量がレベル1(最小)になります。続けて10秒以内にボタンを押すと音量が以下のように切り替わります。

再生中の音量レベル → **レベル1(最小)** → **レベル2** → **レベル3** → **レベル4** → **レベル5(最大)**

※ボタンは10秒以内に押してください。最後のボタン操作から10秒以上経過して押すと、再び音量がレベル1(最小)になります。

※ボタンを押すと、設定した音量で“シャーン”という合図の確認音が鳴ります。なお、環境音再生中は、確認音は鳴りません。

※環境音とBluetooth®機能搭載機器が同時に再生されているときは、2つの音量が同時に変化します。

※本機(スピーカー部)の音量を調節しなくても、Bluetooth®機能搭載機器によっては、機器側の音量を調節することで音量を小さくすることができます。

※製品出荷時の設定はレベル3です。

留守タイマーの時刻設定方法

《留守タイマー機能》

お好みの時間に主光源を自動で点灯、(消灯→点灯)させることができます。また、2種類(留守1、留守2)の設定を登録させておき毎日同じ時間に動作させることができます。

設定をまちがえた場合 設定の途中で操作を取り消すことはできません。一度設定を完了させてから再度設定しなおしてください。
注) 電池交換した場合、留守タイマー設定がリセットされますので再度設定を行ってください。

留守タイマー時刻設定方法

① : 留守ボタンを留守設定表示が点滅するまで長押しする。
液晶画面が右図のように表示され留守設定1が点滅します。
※  は点滅状態を示しています。

② : 明るく/暗くボタンで留守設定番号(留守1/留守2)を選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の留守設定表示の点滅が右図のように切り替わります。
留守1を選択する場合 →  1 を点滅させます。
留守2を選択する場合 →  2 を点滅させます。

③ : ON/OFFボタンを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号(1 又は 2)と  が表示され「AM」、「PM」又は「- : -」表示が点滅します。

④ : 明るく/暗くボタンで自動点灯をする又は自動点灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の「AM」、「PM」、「- : -」の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に点灯させる場合に選択します。
午後の時刻に点灯させる場合に選択します。
自動点灯しない場合に選択します。
⑦項へ

⑤ : ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑥ : 明るく/暗くボタンで点灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで点灯させたい時刻に合わせる
明るく/暗くボタンを押すと1分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑦ : ON/OFFを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号(1 又は 2)と  が表示され「AM」、「PM」又は「- : -」表示が点滅します。

⑧ : 明るく/暗くボタンで自動消灯をする又は自動消灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の「AM」、「PM」、「- : -」の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に消灯させる場合に選択します。
午後の時刻に消灯させる場合に選択します。
自動消灯しない場合に選択します。
⑩項へ

⑨ : ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑩ : 明るく/暗くボタンで消灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで消灯させたい時刻に合わせる
明るく/暗くボタンを押すと1分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑪ : ON/OFFを押す。(これで留守タイマーの設定は完了です。)
液晶画面が右図のように現在時刻表示画面に戻り、②で選択した留守設定番号(1 又は 2)が表示されます。

注1) 同じ留守設定番号で自動点灯しない、自動消灯しないを設定した場合でも、その留守設定番号は表示されます。
注2) 同じ留守設定番号で自動点灯/自動消灯の時刻を同じにすることはできません。(設定しようとすると「Err」の表示がされます。)
注3) 自動点灯を設定した場合、記憶された明るさで点灯します。(明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。)
注4) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。
注5) 環境音を設定している場合、タイマーが「入」の場合は、環境音を再生します。タイマーが「切」の場合、チャンネルスイッチがCH1の場合のみ環境音の再生が継続します。

留守タイマー時刻設定例

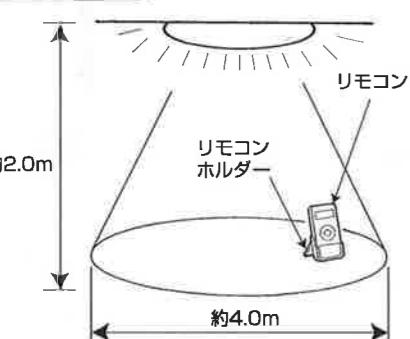


※画面は表示例です。実際の表示と異なる場合があります。

留守タイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く下図の範囲でご使用ください。

重要ポイント

*下図は目安です。



主光源を消灯させる時、常夜灯点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

● チャンネルスイッチがCH1の場合



* 環境音を設定している場合は、常夜灯・消灯時でも再生を継続します。

● チャンネルスイッチがCH2の場合



* 環境音を設定している場合は、消灯時再生を停止します。

* 必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

* ホタルック不要の際は常夜灯ユニット(本体側)の残光スイッチを「切」にしてください。

スピーカー部の電源を照明の点灯状態と連動してオン/オフする

■ 全消灯の状態から主照明もしくは常夜灯を点灯するとき

1. 全消灯の状態から、リモコンで主照明もしくは常夜灯を点灯します。
2. 本機(スピーカー部)の電源がオンになります。



※主照明、常夜灯の点灯方法については、5ページをご覧ください。

※電源オンの後、音が出るまでに数秒かかります。

※製品出荷時の状態では、環境音が再生されます。

■ 主照明もしくは常夜灯が点灯している状態から消灯したとき

1. 主照明もしくは常夜灯が点灯している状態から、リモコンで主照明もしくは常夜灯を消灯します。
2. 本機(スピーカー部)の電源がオフになります。環境音が再生されている場合は、再生が停止します。



※主照明、常夜灯の消灯方法については、5ページをご覧ください。

※リモコンで電源をオフにした状態では、回路に少量の電流が流れています。本機(スピーカー部)の電源を切るには、壁スイッチを切ってください。

※電源をオフにした後ですぐに電源をオンにしても、本機(スピーカー部)の電源は入りません。電源をオフにした後は、5秒程待ってからオフにしてください。

スピーカー部の電源を単独でオン/オフする

■ スピーカー部をオンにする

1. リモコンの **スピーカー部** ON/OFF ボタンを押します。
2. “ポン”と確認音が1回鳴り、本機(スピーカー部)の電源がオンになります。

※電源オンの後、音が出るまでに数秒かかります。

■ スピーカー部をオフにする

1. リモコンの **スピーカー部** ON/OFF ボタンを押します。
2. “ポン、ポン”と確認音が2回鳴って、電源がオフになります。

※リモコンで電源をオフにした状態では、回路に少量の電流が流れています。本機(スピーカー部)の電源を切るには、壁スイッチを切ってください。

※電源をオフにした後で、すぐに電源をオンにしても本機(スピーカー部)の電源は入りません。電源をオフにした後は、5秒程待ってからオフにしてください。

LEDシーリング スピーカー部 取扱説明書

スピーカー部の機能

本機(スピーカー部)は、付属のリモコンを使って以下の操作ができます。本書では、リモコンでの操作方法を説明します。

電源のオン/オフ (13ページ)

本機(スピーカー部)の電源は、“照明との連動によるオン/オフ”、“スピーカー部単独でのオン/オフ”が可能で、用途に合わせた使い方ができます。

環境音を楽しむ (14ページ)

6種類の環境音を用意していますので、雰囲気に合わせてお楽しみいただけます。

音量調節 (14ページ)

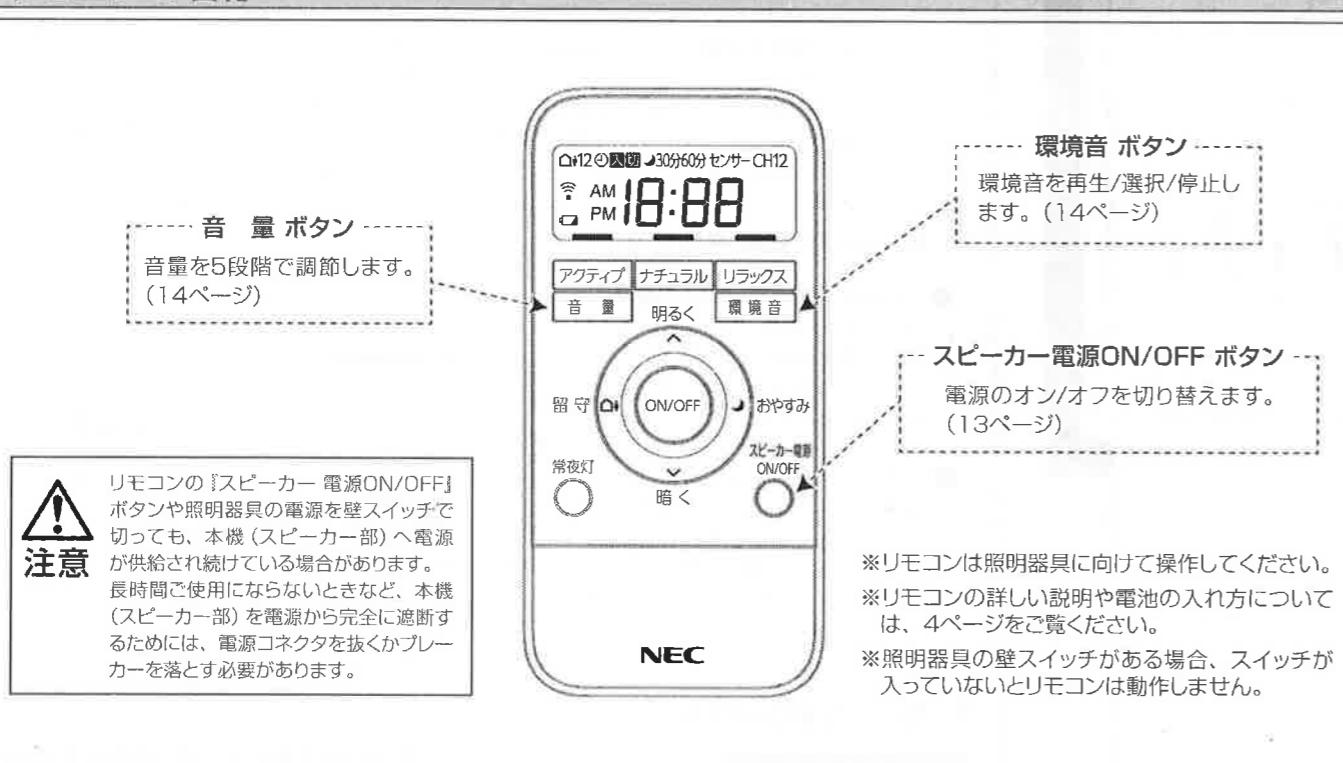
音量を5段階で調節することができます。

Bluetooth®機能搭載機器の音楽を楽しむ (15ページ)

Bluetooth®機能搭載機器と接続して、お気に入りの音楽を楽しむことができます。

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、NECライティング株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

リモコンの名称



専用アプリケーションによる操作

本機(スピーカー部)は、専用アプリケーション(照明アプリケーション)を使って以下の操作ができます。アプリケーションについての情報は、右のQRコードからサイトにアクセスしてご覧ください。

- ・リモコンと同じ操作ができます。(電源、音量、環境音の各種コントロール)
- ・照明の調光/調色、環境音と音色を組み合わせた、6つのシーンモードの切り替えができます。
- ・おはようタイマー/おやすみタイマーを設定できます。

※QRコード®は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

留守タイマーセット方法と解除方法

《セット方法》

留守設定前

AM 9:00 現在時刻を表示

留守1セット

留守ボタンを押すと下図のように切り替わり、留守タイマー1がセットされます。

CH1
AM 6:00 → CH1 AM 11:00 → CH1 AM 9:00
設定済みの留守1のON時刻
又は未動作(-:-)を表示 設定済みの留守1のOFF時刻
又は未動作(-:-)を表示 現在時刻を表示(留守タイマー
セッタ1表示が点灯します)

留守2セット

留守1をセットしている状態で留守ボタンを押すと下図のように切り替わり、留守タイマー2がセットされます。

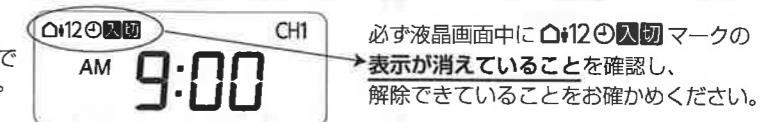
留守1・2セット

留守2をセットしている状態で留守ボタンを押すと下図のように切り替わり、留守タイマー1と留守タイマー2がセットされます。



《解除方法》

留守セット解除 留守1・2をセットしている状態で留守ボタンを押すと解除できます。



おやすみタイマーセット方法と解除方法

《おやすみタイマー機能》

30分後又は60分後に主光源を自動で消灯させることができます。

《設定方法》

おやすみタイマーセットされていない状態で

おやすみボタンを1回押すと、60分おやすみタイマーが設定されます。

おやすみタイマーセットされていない状態で

おやすみボタンを3秒以内に続けて2回押すことにより30分おやすみタイマーが設定されます。

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

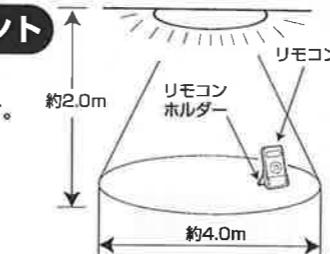
おやすみタイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く下図の範囲でご使用ください。

主光源を消灯させる時、常夜灯点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

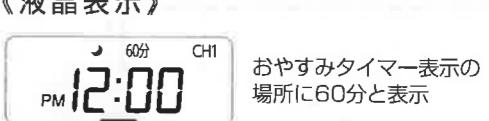
※必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

《重要ポイント》

※右図は目安です。



《液晶表示》



おやすみタイマー表示の場所に60分と表示

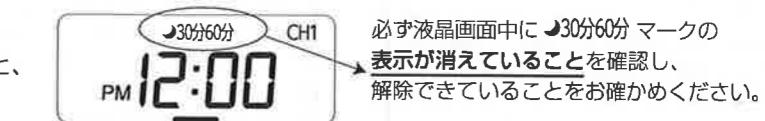


おやすみタイマー表示の場所に30分と表示

《解除方法》

おやすみタイマー設定された状態で

おやすみボタンをさらに1回押すと、おやすみタイマーが解除されます。



器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

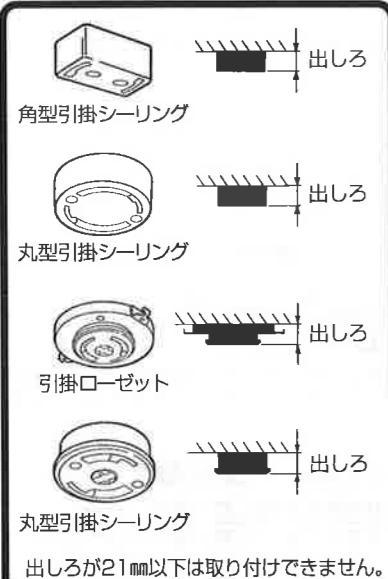
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

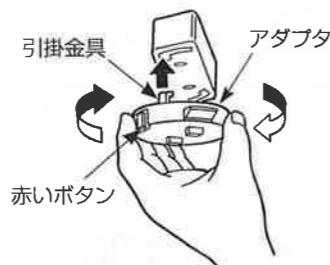
重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。



2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

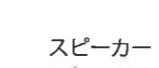
落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

① 1段押上げ(仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



スピーカー

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

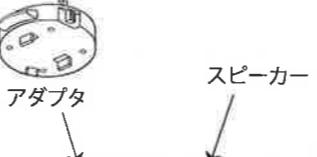
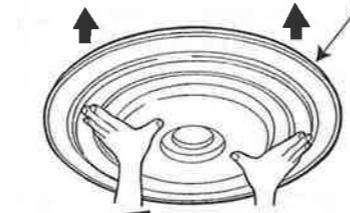
警告

まだ本体の取り付けは不完全です。この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

② 2段押上げ(取付完了)

さらに強く押し上げる。



スピーカー

要チェック

- ①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
- ②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

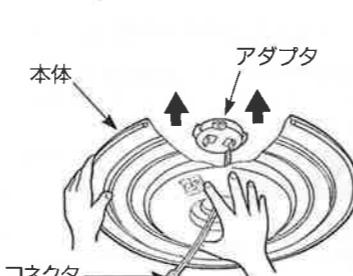
落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

① 1段押上げ(取付完了)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



スピーカー

要チェック

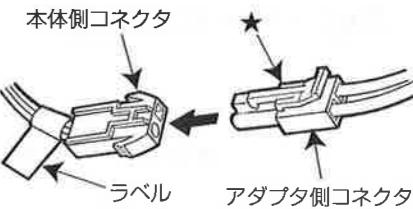
- ①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
- ②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側のコネクタを本体側のラベルが貼られているコネクタに確実に差し込んでください。

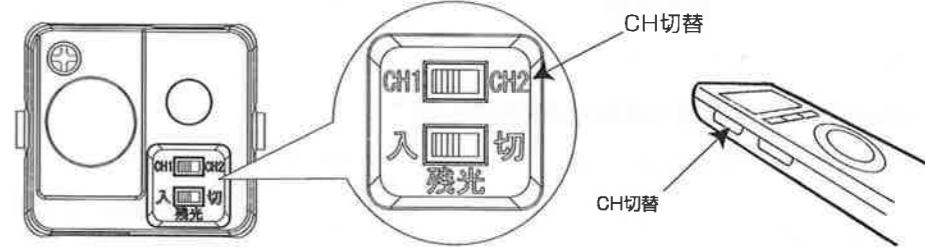
★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。



5. チャンネルを設定する

■ 1台のみ操作する場合

器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。(出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル1に設定しています。)



■ 2台の器具を別々に操作する場合

(1つのリモコンで2台の器具を別々に操作することができます。)

1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。

リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

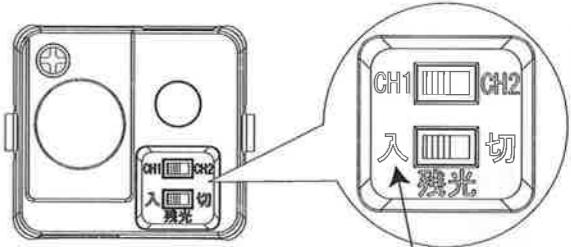


6. ホタルック機能を設定する

■ ホタルック機能を使用する場合

残光スイッチを「入」にすることで使用可能となります。

(出荷時は、残光機能が「入」となっています。)



■ ホタルック機能を使用しない場合

残光スイッチを「切」してください。

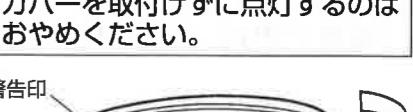
注)「切」にした場合、停電時もホタルック機能が動作しないため、「入」にしておくことをおすすめします。



7. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印(△)にカバーの警告印(△)を合わせてカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。



カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。

「3. 本体を取り付ける」に従って本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

警告 落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

